

2025 年度春学期授業アンケート概要について

2025 年 11 月 大学戦略・IR 室

2025 年度春学期授業アンケート

実施期間：2025 年 7 月 9 日（水）～7 月 22 日（火）

回答率：47.1%（2024 年度春学期実績 46.2%）

本学では、教育の質の維持・向上及び授業改善のため、毎学期、全学的に授業アンケートを実施している。

2025 年度春学期のアンケートにおいては、全体として、「この授業全体を評価すると次のどれにあたりますか」という設問に対して、75.3%の学生が肯定的な回答をしており、学生は授業に対してある程度満足していると言える。また、「授業の内容について関心を持ち、授業内容についてさらに深く勉強したいと思いましたか」という設問については 86.4%の学生が肯定的な回答をしており、学生の向学心・学修意欲については高い水準を示している。

「この授業はシラバスに沿って行われていましたか」という設問に対しては、93.7%の学生が肯定的な回答をしており、授業運営の適正さが確認された。さらに、「この授業では、教員の話し方や説明の仕方がわかりやすかったですか」という設問に対しては、88.8%の学生が肯定的な回答をしており、学生に寄り添った良好な指導が行われていることがうかがえる。

一方で、授業外学習時間の不足が顕著であり、80.2%の学生が、授業に対する週の授業外勉強時間について 2 時間未満と回答しており、今後の改善に向けては、シラバスにおけるより具体的な予習・復習指示の明記、LMS の一層の活用等により、授業外学習時間の確保と学習習慣の定着を図ることが必要であると言える。

総じて、本アンケートの結果からは、本学の授業が概ね高い満足度を維持している一方で、学科間に顕著な差異が存在し、特に自主的学習を促す仕組みの強化が全学的課題であることが明らかとなった。今後は、学生一人ひとりの学修意欲と学びの質を高めるための教育改善を継続的に推進していくことが重要であると考えられる。